



1
2012

主題 (2011/2012)

国際会長 Audere est Facere - To dare is todo
「とにかくやろうー成せばなる」

アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith
「とにかくやろうー成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love
「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

中西部長
「であいで愛」

大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all, all for one
「一期一会：ひとりひとりを大切に」

会長	牟 大
直前会長	脇 本
副会長	森 嶋
	清水 汎
	豊 島
書記	脇 本
会計	尾 和
	北 村
プリテン	松 原
連絡主事	田 尻
	大 盛
	博 博
	弘 明
	正 利
	博 孝
	三 幸
	邦 忠

【今月の聖句】

「互いにあいさつを交わしなさい」

ローマ人への手紙 16章 16節

【1月新年例会プログラム】(IBCDBC強調月間)

1月例会は、中西部合同新年会をもって例会となります。

とき：2012年1月14日(土) 受付13:30～ 開会14:00～

ところ：ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭の間

(JR大阪駅構内1階、大丸梅田店西隣りにホテル玄関)

会費 8000円

ホスト 大阪センテニアルクラブ

第1部 式典

第2部 新春を寿ぐ

大阪府立東住吉高校芸能文化科のみなさん

第3部 懇親会



12月例会での集合写真

【第2例会兼新年会のご案内】

とき：2010年1月17日(火) 18:30～21:00 (食事は、19:00から)

(1月10日には、例会を開催しません。ご注意ください。)

ところ：肥後橋 徐園(北京料理) 電話 06-6448-5263(代)

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」2番出口 徒歩1分

(大阪土佐堀YMCAではありませんので、ご注意ください。)

会費：4000円

(第2例会を大阪クラブの新年会とします。多数のご参加をお願いします。参加者は脇本書記宛にご連絡ください。)

今月のお誕生日：脇本博（08）豊島正利（12）

メネットさんお誕生日：該当者なし

結婚記念日：末岡祥弘（15）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

新しい年を迎えました。

「あけましておめでとうございます」

「新年おめでとうございます」

このようにお正月に互いに交わし合う、あいさつも、いつもとはちがって、何となく、なごやかで、さわやかなものを感じます。新年にあたってこの一年神の恵みと平安があるようにと、心をこめて、神に祈り、あいさつを交わしたいと思います。

【クリスマスメッセージ】

会長 牟 大盛

「12月クリスマス合同例会メッセージ：真に仕えるひと」

聖書：ルカによる福音書 第2章 9 - 11節

「すると主のみ使いが現れ、主の栄光がかれらをめぐり照らしたので、彼らは非常に恐れた。み使いは言った、恐れるな、見よすべての民にあたえられるおおきな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。このかたこそ主なるキリストである。」

メッセージ

2011年度を代表する文字は、東北大震災を受けまして「絆」となりました。また、今年はその絆を求めて、結婚の比率が関東地区を中心に大幅に増加傾向にあり、またタウンコンパなるイベントも流行り、外見にとらわれた物質至上時代から「心」と「安らぎ」を求める時代に確実に変革することを実感いたします。

今日の聖書の箇所は、神の独り子イエスが救い主＝キリストとしてすべての民に与えられるクリスマスの箇所です。つまり、人類の罪の購いの生贄として生まれました。それは、わたくしたちには大きなよるこびであります。

フランス語に「ノブレス・オブリージュ」ということばがあります。日本語では「位高ければ、徳高きを要す」と訳されています。つまり、富めるものや力のある人々は、弱い人を助ける、いわば義務があると解釈されています。

神はイエスキリストを、この精神で人類に送られました。

また、1844年のYMCAの創設者、ジョージウイリアムズは、自らも中世の産業革命のまっただ中で、少年労働者であったにも拘わらず賃金の大半を貯蓄し、仲間の少年12名で同年キリスト教少年労働者の啓蒙と相互扶助のため、現在120カ国であらゆる貧困や虐待、と戦う支援を実践しています、YMCAを創設したのであります。また、このワイズメンズクラブも、このキリスト教精神を支援すべく米国で設立された国際奉仕団体であります。

キリスト教では、3種類の愛があると言っています。

まずはアガペの愛です：これは神の私たちに対する絶対的な愛です。また、親の愛もこれと同等であるといわれています。この為なら命を捧げるからです。

フィレオの愛：兄弟愛、キリスト教では、強盗にあった旅人を我が事のように助けた良きサマリヤ人に代表されます、隣人愛を意味します。

最後にエロスの愛：男女の愛 これは、皆様ご周知とおり絶対的でもなさそうですね。

私たち、ワイズメンズクラブはこのうち、隣人愛を実践するために集まった集団であります。

その、社会奉仕の方法は色々ありますが、基本はキリストのアガベの愛とフィレオの愛の実践であるべきです。聖書では、奉仕は右の手が知らないように左手ですべきです。と言っています。つまり、奉仕の形ももちろん大切ですが、そのかたの心の在り方を言っているのです。自分を表すためでなく、愛を実践するためならば、真に人も神も喜ぶ奉仕といえるでしょう。

旧約時代は、律法を重んじましたが、新約時代を生きる今は、「心」を重んじる時代に私たちは生きていくのです。

真の、「ノブレス・オブリージュ」が何かをクリスマスを機会に考えたく思います。

【12月出席状況】

12月出席状況	在籍	例会出席	アメイプク	メネット	ゲスト	ビジター	出席率	二献 コ金 ニコ
正会員	14	10		4	7	7	71.4%	40,000円
功労広義会員	4							
合計	18	10		4	7	7		

チャリティ売り上げ(茨木クラブさんと合同) 52,800円はYMCAへのクリスマス献金としました。

12月例会の出席者

メネット：崔金順、北村信子、五条久美子、脇本真知子メネット

ビジター：中西部長 清水誠治郎さん、中西部書記 湯浅禎也さん(大阪西)

松本武彦さん(大阪ヴェクセル)、上野恭男さん、柏原佳子さん(芦屋)

藤井弥生さん、松下 広子さん(なかのしま)

ゲスト：宮野孝雄さん、宮野洋子さん(脇本友人)、西村智恵さん(OG)、西村佳恵さん(OG)

万並由美子さん(手話通訳)、高土雄輔さん(OB)、立山英展さん(大阪YMCA)

【クラブ役員会報告】報告者：書記 脇本 博(代理：牟 大盛会長)

日時：2011年12月20日(火) 18:30~19:00

場所：「蟻十」(北区与力町)

出席者：清水汎・松原伸幸・北村知三・五条孝次郎・牟大盛・脇本真知子メネット・崔金順メネット
(決議事項)

1) 1月例会のとり扱い

中西部会新年会 1月14日(土) 14:00 - 16:50 ホテルグランヴィア大阪20F【名庭の間】

出席者 牟大盛 会長、北村知三、松原 伸幸、清水 汎、脇本 博、脇本真知子

中西部新年会を第一例会とする。

2) 1月17日(火) クラブ第2例会 (新年会) 於： 徐園 会費：@¥4000

第2例会 18:30 - 19:00、 新年会 19:00 - 20:30

出席者は、随時募る。 従来の1月24日の予定日を1週間繰上げとする。(第3火曜日)

3) 2月例会(TOF)プログラム

会場を 土佐堀YMCA 301号室に変更。

演題 「チュニジアの展望とサワラク（ボルネオ島）との交流について」

スピーカー 五条孝次郎さん、新栄給食に軽食注文（例年どおりサンドウィッチ）

4) 3月例会（EF, JWF）プログラムについて

演題 「ファンド事業について」

スピーカー 西日本区 ファンド主任 三牧 勉さん、謝礼 1万円

5) 今後の例会について

4月例会（Yサ）スピーカー：豊島正利メンに依頼する。

5月例会（LT）特別例会 キャッスルホテル、出し物を検討する。

6月例会（評価、計画）：例年どおり評価会とする。

6) その他

1月中に新年パーティーを兼ねた、HH拡大委員会開催を予定し、田尻連絡主事に準備関係を一任する。

12月合同例会の収支不足金¥23,000-は、ニコニコ献金の¥27,000-で補填することを了承した。（尾和会計からの提案事項）

釜ヶ崎の「いこいの家」へ、例年どおり2万円のクリスマス献金を実施する。

（今後の行事）

1月8日 9日 西日本区次期役員会研修

1月10日 半年報締め切り

1月14日 中西部評議会

3月10 - 11日 次期会長、主査研修会

6月9 - 10日 区大会

2011年12月 クリスマス合同例会 収支報告

（開催日：2011年12月13日）

会計担当 尾和信孝

項目	収入	支出	差引
会費	228,000		
（大阪C 22名）			
（茨木C 16名）			
例会費		221,000	
（キャッスルホテル）			
出演者謝礼		30,000	
合計	228,000	251,000	-23,000

ニコニコ 40,000 配分 大阪C 27,000 茨木C 13,000

オークション売上 52,800 2クラブ名で 大阪YMCAに献金。

不足分{23,000円)は 大阪Cの負担とし、ニコニコ分配金にて補てんする。

【12月例会報告】

尾和 信孝

今年のクリスマス例会も、茨木クラブと合同で開催された。

1部のクリスマス礼拝は、讃美歌、聖書朗読につづき、牟会長がクリスマスメッセージで別稿のように愛の3つの形について述べられた。敬けんなクリスチャンの会長らしいメッセージでした。

両クラブ共に1名ずつの入会者があり、2クラブそろって入会式を執り行うという喜ばしい式典が、祝会のなかでありました。大阪クラブに入られた五条孝次郎メンは、若いころYMCAに学びお世話になったのでこれからワイズ活動をととうしておかえしをしたいと言われる青年の夢を抱きつづけておられる方です。牟会長のEMCが実現した一夜でした。

清水汎メンによる乾杯につづき、アルトサクスの演奏を聴きながら楽しい食事となりました。

オークションは、脇本メン(大阪)、山崎憲メン(茨木)の愉快的司会のもと、出席の皆さまのご協力により完売。売り上げ(52,800円)はYMCAにクリスマス献金されました。

このあと誕生日、結婚記念日のお祝い、ニコニコアワー、インフォメーションとつづき、讃美歌、YMCAの歌を歌って閉会。みんなで記念写真をとってお開きとなりました。出席者45名 大変賑やかで楽しい今年最後の例会でした。

【芦屋クラブクリスマス例会参加報告】

会長 牟 大盛

12月23日(休・金)午後6時から、JR芦屋駅に隣接した、ホテル竹園芦屋にて芦屋クラブのクリスマス例会が開催されました。参加者数は、約75名で六甲部の全クラブからだけでなく、芦屋市長、六甲部長や西日本区役員などが参加され、一クラブの例会というより、六甲部全体のクリスマス例会の様相でした。参加者も同様に部全体の例会と表現されていました。

第一部は牧師先生によるクリスマス礼拝、第2部は女性3人によるワイズメンの年代に沿ったメロディーのジャズ調のメドレーで盛り上がりました。会食と歓談のあと、プロ顔負けのマジックショーとオークションと続きました。

最後に、全員がひとつの輪になり手をつなぎ「きよしこの夜」をうたいました。

3.11の東北大震災を受けて、神戸YMCA総主事から、当日の夜に宮城県へボランティアとスタッフ総数12名を派遣し、子供たちと楽しくクリスマスを過ごすとの報告がありました。これから、長い支援が必要との認識で全員が心を合わせた例会となりました。

大阪クラブからは、清水汎メンご夫婦と小生(牟)の3名が参加しました。

ご参考に、芦屋クラブは大阪クラブの70周年記念の13年前の1998年にチャーターしたクラブであります。

【新年を迎えて】(先着順で記載)

清水汎

今年は日本全国民を震撼させる大事件が立て続けに起こり、物心ともに人間が生存していく深底を考えさせられました。戦後平和な、安心して暮らせる時期が50年以上続きその延長線で物事を判断して人生計画を立てている方が、殆んどでしたが、今度ばかりは根本から人生またその生き方について日本人としてどうあるべきか、真剣に考えて対処しなければならないと思います。

政治、経済、社会と成長路線の羅針盤に乗って民主的に企画され、運営されてきたものを根本的に変えないと国の存続そのものが難しい時期を迎えるものと考えられます。しかし平和な安心できる家庭から優れた人材が育つのであるが、こんどの大阪市長選挙をみても民意は革命的改革を望んでおり、一人の独裁的指導方針で社会が動かされることも考えられます。戦争のない安心できる暮らしを永久に望みたいものです。

條イサヨ

2012年夏には国際HHキャンプが香港とマカオで開催されます。私も参加したいので、足手まといにならないように少しでも体力をつけておきたいと思っています。それにはまず歩くこと。2011年は5000歩に届かない日があったので、毎日最低5000歩以上歩くこと。それと英語を少しでも話せるように

努力する。今は、覚えてもすぐ忘れてしまうのですが、とにかく英語に触れる機会を多くしようとテレビの英語番組を見たりしています。

2012年も大阪ワイズの第一例会にはできるだけ出席するつもりです。新年もよろしくお祈りします。

牟 大盛

2011年は、多事多難な1年でした。国難ともいえる3.11の大震災は日本と世界に自然災害の再認識とそれをつかさどる創造主の意思を考える機会となりました。また、われわれの家族の絆こそ生きる根源であることも再認識した年でした。

今期の会長標語と活動方針は次のとおりです。

1. 会長標語(主題):「一期一会:ひとりひとりを大切に」

:There is no time like the present:One for all,All for one

2. 活動方針

- 1) 聴覚障がい国内キャンプの新規事業推進
- 2) パサデナクラブとのHome Stay Exchange の継続(IBC)
- 3) 会員相互のより一層の意思疎通を図る
- 4) EMCへのあらゆる努力・手段の実行
- 5) その他、CSなどへの貢献度アップ

昨年は、また遊上義一大先輩との地上での別れもありましたが、12月の茨木クラブとのクリスマス合同例会では、部長団をはじめ45名の参加者の中、五条幸次郎メンの入会式ももたれました。今後のご活躍を期待しています。

昨年は、大阪クラブの基幹事業ともいえます、聴覚障がい者育成支援事業の2年に一度の国際HH(聴覚障がい)キャンプに加えまして、大阪YMCAの東北震災被災者支援事業も合わせた、国内HHキャンプを六甲YMCAで開催できました。これは、大阪クラブにおいて画期的な出来事といえます。それまで、2年毎の国際HHキャンプは、開催地が主に海外であり国際諸事情によりなんども遅延されました。このような中、年ごとに国際キャンプと国内キャンプが相互に開催されることにより、相互の連携が期待されます。

また、YMCAのキャンプリーダーが不在のなか、HHキャンプOBOGと手話通訳士の皆さんが立派にリーダー役をこなされまして、無事成功裏にキャンプを終了できたことは、今後のOBOG親睦会発足などをとおして名実共に

HHキャンプ支援事業のキーパーソン集団として成長されますことを祈っています。

同時に永年継続しています、パサデナクラブとのIBC Home Stay Exchangeも昨年は大学生のニコラス君を迎えました。HHキャンプでの親睦をとおしての活躍もあり、ご本人は勿論キャンパーとわれわれにおいても意義ある機会となりました。今年は、大阪クラブからパサデナに子弟を送る年となります。コメントやお孫さんを含めて候補者を推薦してくださいませ。

最後に、大阪クラブの新年会を17日(第3火曜日)午後6:30分から徐園にて持ちます。(食事は19時から)1月例会が中西部合同新年例会となりますので、クラブ新年会にたくさんのご参加を願います。

クラブ会員の親睦があってはじめて、クラブの活動活性化と発展が可能となります。それは、家庭や社会も同様でしょう。今期は、クラブ会員相互の親睦を十分に果たせず恐縮ですが、一人でも多くの会員の諸例会への参加があって初めて、親睦も可能となりますのでどうぞよろしく願います。

会員相互を思いやるクラブを理想とし、皆様のご協力をお願い申し上げます。また、ご健康に留意されまして、楽しみながらクラブ活動を推進いたしたく存じます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

豊島正利

あけましておめでとうございます。

東日本大震災とそれに伴う大津波が処々に直接・間接に大きな被害を及ぼし、その対策に明け暮れた昨年でした。今年は物心両面からの復旧復興の着実な進展を皆様とお祈りしたいと思います。

私の新年への期待は、第一に健康の維持を念頭に次のような年頭自警を肝に銘じ一貫持続することです。

- 一．年頭まず自ら意気を新たにすべし
- 一．年頭古き悔恨を棄つべし
- 一．年頭決然滞事を一掃すべし
- 一．年頭新たに一善事を発願すべし
- 一．年頭新たに一佳書を読み始むべし

北村知三

未曾有の大災害や世界的不況で閉塞感漂うこの世界で、いまだに会社勤務を続けながら、暖かいワイズメンに癒され励まされ、またこの一年をともに楽しむことができる健康と人生観を大切にしたいと思っています。

北村信子

今年の大阪クラブは、昨年決められた目標を実行された素晴らしい年であったように思います。でも私は何ら参加することができなくて、申し訳なく思っています。身近な人々を助けることに多くの時間を割くことで精一杯でした。来年も例会だけはなるべく出席したいと思っていますが・・・。

脇本 博

明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しく御願い申し上げます。

昨年の一年は私の人生の中でも時間が一番早く過ぎ去ったような気がします。年齢とともに時間が経つのが早くなると言いますが、それだけではなかったように思います。いろいろなことがありすぎました。物理学者の寺田寅彦が「天災は忘れたころにやって来る。」と言いました。けだし名言です。

しかし、その後の原発事故はどうでしょうか。現在いろいろと検証されていますが、どうも人災の要素が濃いです。器械は人間の作るものですから完璧なものは有りません。運用については、人間は同じ過ちを繰り返すものです。すべて安全神話は最初から幻想に過ぎません。有るものを無いと信じ、無いものを有ると信じる人間の心の不完全さ、これは時には柔軟と言う言葉で置き換えても良いのですが、科学技術のなかではこれは人間を致命的な陥穽に陥らせる要素にもなり得ることがよく理解できました。

さて私達ワイズメンは社会奉仕活動を目的として集まっています。奉仕活動がなければそこには、空虚な社交しか残り得ません。昨年は、消滅しかかったHHキャンプですが、私達の熱意がOB、OG達の心を動かし初のHH国内キャンプを成功させました。キャンプ中、彼らの熱心な後輩の指導ぶりには頭が下がりました。YMCAのスタッフのお働きには篤く感謝申し上げます。

今年は海外キャンプの年です。府下の豊学校を訪問し、時間の許す限り広報活動に従事する積もりです。大阪ワイズメンズクラブの社会奉仕活動がこれを機にますます活発になり、多数の参加を得て国際HHキャンプが成功するよう祈っております。昨年から駆け出したところです。今年は将来への事業展望で一番大事な時期と思っています。本年もワイズ運動に楽しんで参加したいと思っています。メンバーの皆様のご支援、ご協力を切に御願い申し上げます。

田尻忠邦

私にとっての大阪ワイズメンズクラブにおける2011年のハイライトは、何と云ってもHH国内キャンプを後援し、脇本前会長自らが、大阪府内の聴覚支援学校4校に足を運び、広報活動をしていただいたこと。パサディナ・ワイズメンズクラブからの交換留学生ニコラス・ヘルド君が、HH国内キャン

プに参加してくれたこと。それから、牟会長、北村メン、脇本メン、脇本メネットが、六甲山Y M C AでのH Hキャンプに参加して下さったことの3つです。これらは、長年H Hキャンプを支援してきた大阪ワイズメンズクラブの歴史に新たな1ページを書き加える画期的な出来事だったと思います。

2012年は、香港とマカオでH H国際キャンプが、開催されます。昨年実施した初のH H国内キャンプで培った経験とネットワークを生かして、早い段階から募集活動を展開し、一人でも多くの参加者を送り出したいと願っています。

また、昨年はパサディナ・ワイズメンズクラブからニック君を受け入れたので、今年は大阪クラブが留学生を送る番です。是非とも、どなたかをパサディナへ派遣して、貴重な経験をしてきてもらいたいものです。

五条孝次郎

ワイズメンの皆様 あけましておめでとうございます

学生時代にイブのミサでお聞きした「主イエスは何故この地上の一番貧しい人々と同じ状態でお生まれになったか」というクリスマスメッセージに想いを馳せていました。「孤独で貧しく、苦しみ悩んでいる人々に神様の愛をささげることに目を向けておられたからです。」という主事のお葉が昨今ようやく理解できました。

暮れのクリスマス・イブは未だ出口のないデフレと二重苦、三重苦に悩む日本の世相を映してか、活気ある「ジングルベル」より「きよしこの夜」など静かな曲ばかりが耳に入ってきました。官僚、政治家、経済界のみならずジャーナリズムまでが不況風とネガティブ思考ばかりを叩いています。大衆のなかには考えられないような犯罪にはしる層が出てきました。物の豊かさも大切ですが心まで大不況に陥いることは絶対に避けねばなりません

経済社会は実体に比べてお金が十倍位に水膨になって、欧米を中心に狂ってきました。「人の幸せのための経済」が「経済のための人」に墮落した経済至上主義の社会に陥っています。ビジネスはコスト競争という罠にはまり、あらゆる分野で少数の勝者と大勢の敗者をつくり、多く失業者と犠牲者を生んでしまいました。

ただし外国に住んで旅をしてきた者の目からは日本の状況はまだ良い方です。日本がいろんな分野のランキングでトップクラスから下位になったとわめき散らさず、自虐的にもならずポジティブに考え行動することを習慣づけようではありませんか。そうすれば幸せと繁栄を呼びよせることに必ずつながります。心で思い、口にだして言えば、それで半分は幸せになれるのです。あとの半分はやはり突破口を見つけて行動と努力で勝ち取りましょう。

これまでワイズメンの会合にゲストで招待を受けて感じたことは部屋に入りメンバーの方々と言二言あいつを交わすと、世俗的空気から、すーと「なごみ」の世界へ移った感じをもちました。多分私より仁徳を積まれた方々の優しさゆえだろうと思っています。

新年より私の会員活動が始まることになります。最初は教えられることのみが多いと思いますが、自らと人生をこの機会に見つめなおし、奉仕活動ほか有意義なワイズメンライフを皆さんとともに持ち楽しみたく思います。

脇本真知子

明けましておめでとうございます。

今年もどうぞ宜しく御願い申し上げます。昨年は六甲H Hキャンプに参加できて実りの多い年でした。今年マカオで国際H Hキャンプが開催されるそうです。O GやO Bの皆様が国内キャンプで得られた成果を是非、国際でも発揮して頂きたいです。

昨年、参加されたキャンパーも何人が参加されることと思います。若人の成長を見るのが楽しみです。事情が許せば、私も参加したいと思っています。

崔 金順

昨年は、故遊上義一さんがお亡くなりさびしい反面、五条孝次郎さんが新しくご入会され、うれしい限りです。メネット会として十分な働きができませんでしたが、今年も皆様のご健康と心と力を合わせてのご奉仕にメネットの皆様と力をあわせて臨みたく思います。

【遊上義一さんとの思い出】

宝塚クラブ 三品 ミチ子

(前編)

今年の一月、年賀状の配達もそろそろおしまいかなと思い始めた頃、遊上さんからつぎのようなお八ガキを頂きました。

「私が今年頂いた年賀状約 800 通のなかであなたののが最高にうれしかったです ありがとう 遊上義一」
39 文字の八ガキ、いつもと変わらない簡潔な文章でした。

お元気にしてらっしゃるのだなあ、よかった。いつものニコニコなさったお顔を思い浮かべながらホットしていました。節分も過ぎ、やがて桜前線の便りがチラホラ届き始めた 3 月 11 日、東北地方に、かつてない広範囲の大地震とおおつなみ、そして絶対あってはならない原子力発電所の大事故で日本は一変しました。さらに夏の猛暑が続き、日本全体が厳しい環境におかれていた 8 月、遊上さんの訃報を知りました。とっさに遊上さんから頂いた 1 月の八ガキを思い出し、どうしてあの時電話の一本、八ガキの一枚でも送るべきだったのになんと心ない事をしてしまったのかと自分を責め、深く後悔しました。遊上さん、ごめんなさいね。

遊上さんとの出会いは単純なものではなく、前編、後編と二段重ねのような気がします。前編は、遊上さんと、夫三品とのつながり、後編は遊上さんとワイズを通しての三品ミチ子です。世の中よく、偶然とか、たまたま、と言う言葉をつかいますが、そこには何かしら偶然とは思えない神のご意志があるように思えてなりません。前編はかなり昔になりますが、遊上さんと夫は雲雀丘のご近所同士のよしみで懇意にしていただき、二人とも大の読書家だったので政治、経済、宗教、未来の夢など語り合った事と思います。仕事の面では遊上さんが阪急不動産の専務時代、夫の勤務していた会社の合併で、新しい事務所探しをしていた時、大変ご親切に協力していただきお世話になりました。しかし二人とも仕事が多忙を極め、事情も変わってきて疎遠になり、その後、夫は天に召されて、交流は途絶えたかに見えました。私はこの前編時代、夫から遊上さんのことは間接的に少し話を聞く程度でした。やがて私は夫の勤務していた会社の子会社が大阪にも出来、そこで働くことになりました。

遊上さんと奇跡の再会、そしてワイズメンズクラブ入会！ (後編)

1982 年 7 月下旬、雲雀丘のホームで電車を待ってらっしゃる遊上さんに気がつき、何のためらいもなく自然に私から話しかけました。始発電車の中、遊上さんは私の右側にお座りになり、お天気の話から、ワイズメンズクラブという聞きなれない名前のお話に移りました。このお話しは終点の梅田駅まで続きました。暫くして大阪ワイズメンズクラブから 8 月例会のお誘いのお葉書が届きました。8 月の例会スピーチは「天神祭りの今昔」と題して寺井 種茂宮司のお話がありますから是非お出で下さいという内容でした。八ガキを見て安心しました。この頃 YMCA 会館は新会館建設中で仮の場所「レストラン シャトウ」とい所で例会を続けていたそうです。品のいい紳士が「ようこそいらっしゃいました。どうぞこちらへおかけ下さい」と声をかけてくださった時はホット致しました。今から思えばその品のいい紳士は牧口五明大先輩でした。例会訪問お試し期間を無事終え、1982 年 12 月クリスチャンセンターで遊上会長立会いのもと入会式を終えることが出来ました。この 1982 年という年は遊上会長にとっては大飛躍の年であったといえます。3 月に大阪クラブにとって初めての女性メンバーを会員として認め、岩崎龍さんを迎え入れた事、5 月に大阪高槻クラブ、更に 9 月に大阪センテニアルクラブと二つの新しいクラブが誕生しました。そして 12 月新メンバー武村光雄

氏と二人目の女性メンバー三品ミチ子が加わり会員数 45 名になりました。ロースターを見ますと、1899 年生まれの尾形繁之さん、1900 年生まれの三井満寿雄さん、中脩三さん達がお元気でおられた事を思うと不思議な気がしました。

入会して 3 年も経たない 1985 年の夏、遊上元会長からハワイ大会へ参加しないかというお誘いを受けました。海外旅行には未だ行った事がなかったので、遊上さんとも共通の友人である H さんをお誘いして参加させて頂きました。大阪センテニアルクラブの松添さんの行き届いたサービスには本当に驚きました。又、2 泊 3 日のホームステイではヌアヌクラブの平中さんのお家に泊めていただきました。ご夫妻の温かい誠心誠意のおもてなしに、一生忘れ得ない感動を覚えました。ワイズ精神（魂）イコール 平中夫妻の素晴らしい御心（魂）だと感じる事が出来、人間としてのいろいろの事を気づかせていただいたり、学ぶ事が出来て、収穫の極めて多いハワイ旅行だったと深く感謝しています。

1988 年京都国際大会がありました。1899 年生まれの尾形先生始め、沢山のワイキチが参加しました。遊上さんも私も京都のメネットさんたちもゆかたを着て楽しみました。当時の登録は 2,304 名だったそうです。

ハワイでお世話になった平中夫妻にはいつかご恩返しをしたいと願っていました。1991 年。ありがたいことにチャンスがきました。遊上さん、元大阪センテニアルメンバーの正司さんご夫妻と宝塚市役所をご案内、食事を共にしました。そして念願であった平中夫妻をお泊めすることが出来ました。大変嬉しかったのですが、、大きな失敗もしてしまいました。

遊上さんは普通の人より好奇心も強く、向上心のある事でも有名です。YMCA でも NHK の教室でも英語はもとより特に韓国語に興味を持たれ、韓国語を熱心に学ぶと同時にサークル活動にも参加されていました。交換教授として韓国から留学してこられた金順甲教授と出会い、交流を深め、教授から個人レッスンを受けられ、お返しに夫人にはダンスを教えられたそうです。やがて教授夫妻が韓国へ帰国される時。海洋大学の教授に 2 万冊の蔵書を譲る話が出て、その後大学の図書館に陳列されました。この事は新聞にも大きく取り上げられました。その後韓国表敬訪問と海洋大学訪問の話が出て 1999 年 11 月 20 日大阪クラブのメンバーとメネットさん 10 名で海岸のすぐそばにある広大な海洋大学の学長となられた金順甲教授を訪問しました。4 階の広いお部屋の入り口に YUKAMI LIBRARY と書かれたボードがかけられ、書棚の上には Yukami Collection の札がありました。大学の関係者に囲まれ、2 万冊の本を見上げる遊上さんの胸中はいかばかりであったるか。遊上さんにとっても私たちにとっても本当に嬉しい瞬間でした。蔵書の内容は多岐にわたり、中でも宗教に関する本が一番多かったように感じました。遊上さんの隠れた民間外交と実力には心から敬意を表します。釜山は歴史ある奈良に似た落ち着いた美しい所でした。

1 ページに「奇跡の再会」と書きました。これは、もしあの時私が遊上さんにお声をかけなかったら、私は一生ワイズメンズクラブも知らず、数々の出会いもなかったかもしれません。でも私はワイズメンズクラブのようなそういう理想的な所がどこかにあるのではないかと、毎日求め祈っていました。遊上さんがワイズメンズクラブの会員である事も、しかも当時の大阪クラブの会長であることも全く知りませんでした。夫は私の求め祈っていることに気づき、昔からの友人である遊上さんを信頼しこの日を選んで再会させ、ワイズダムへの道を導いて下さるようお願いしたのではないかと思います。納得が이었습니다。来年で 30 年になります。遊上さんとの出会いがあったおかげで、私はワイズダムの良い人間を磨く大きな学校に入り、育てていただき、新たな出会いを経験させて頂き、心から感謝しています。一言ではいい尽くせませんので、過去の先輩の残された言葉をお伝えさせていただきます。

「私の一生を通じて言えることは、＼なくして私の今日あるを得なかった。しかし又あったとしても極めて味気ないものだったということだ。」

【HHキャンプについて】

HHキャンプOB 西村 智恵

早いもので今年もあとわずかです。特に今年は大阪ワイズメンズクラブの方々と深く関わることができた一年間でした。

毎年アジアを中心とした各国で開催されていた聴覚障害者青少年国際キャンプ(HH キャンプ)が、色々諸事情があって2年に1度開催されることが決まった。

それをきっかけにこのキャンプを若い世代にも引き継いでいくためにキャンパーからリーダーになってもらって継続していきたいという思いから、リーダー養成を一つ目的とした、国内キャンプをしてはどうか?と提案されて、そこから準備会なる拡大委員会が設けられた。

まず私たちには手話通訳者がいないと何も始まらない。手話通訳者も阿南キャンプで通訳してくれた高橋さんは宮古島へ移住、去年のマレーシアでの通訳してくれた久保さんもイギリスへ留学。これはまいった~というところで、高橋さんより伊田さんを紹介していただき、無事にキャンプまでいくことが出来たことが一番の大きな喜びです。

OB・OGも過去参加者で今も連絡が取れる人は限られていて、趣意を理解してもらい、どうやって引き込むか?が一番悩んだ。いや、無理矢理参加してもらったといった方が正しいだろう。最初は渋られていたが、回数を重ねて行くにつれ自主的に参加してくれるようになってくれたのがありがたかったし、ワイズメンズクラブの方々も手話サークルに行き始めたとか、手話を覚えようとしてくれたのも嬉しかった。

キャンプも最高に盛り上がり、参加者からはキャンプ楽しかった。友達が出来た。来年のキャンプで会おう。友達にもどんどん伝える。など嬉しい言葉をたくさん言ってくれたときは、本当に、このキャンプのために色々働きかけてくれた仲間たち、ワイズメンズクラブの方々、手話通訳の伊田さん、YMCAスタッフなどいろいろな方への感謝でいっぱいでした。感謝しきれません。ありがとうございました。

【YMCAニュース】

第225回大阪YMCA早天祈祷会

日時：1月20日(金) 7:30~8:30

場所：大阪YMCA 会館10Fチャペル

証し：奥村洋充(福岡YMCA出向スタッフ)

参加費：300円(軽食付き)

キリスト教オープンセミナー

今回は、東日本大震災から一年を迎えることもあり、宮城県石巻市の日本キリスト教団石巻山城町教会で被災され、本年4月より日本キリスト教団森小路教会(大阪市)に赴任された鈴木淳一牧師夫妻を迎えて、震災の体験を通して我々はどう受け止め、どう生きるべきか...語っていただきます。ぜひご参加ください。

テーマ：『東日本大震災の体験を通して 今をどう生きるべきか』

講師：鈴木 淳一 牧師、鈴木 斐善姫(ペーソンひ)牧師(日本キリスト教団森小路教会牧師)

日時：2012年 2月28日(火) 14:30~16:30

会場：大阪南YMCA(YMCA学院高等学校)

会費：無料(定員60名)

お申し込み・お問い合わせ

12/19(月)から受付開始、お申込みの際にお名前と連絡先をお知らせください。

南YMCAキリスト教委員会 貝 電話 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831

年末は12月27日(火)まで、年始は1月10日(火)より受付をいたします。

【会費納入のお願い】

会計 尾和 信孝

1月から後期に入りますので、会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

1) 正会員 会費後期分 35,000円

(なお、広義会員は、会費1年分25,000円です。)

会費振込み口座

三菱東京UFJ銀行 谷町支店
普通口座 1036689
口座名義 大阪ワイズメンズクラブ会計 尾和 信孝

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 阪和部合同新年会・・・2012年1月9日(祝・月)14:00~17:00 於:南YMCA
2. 中西部合同新年会・・・2012年1月14日(土)14:00~17:00 於:ホテルグランヴィア大阪
3. なかのしまクラブ15周年記念例会・・・2012年2月8日(水)18:30~ 於:YMCA10F
4. 高槻クラブ30周年記念例会・・・2012年4月15日(日) 於:たかつき京都ホテル
5. 豊中クラブ50周年記念例会・・・2012年5月13日(日)15:00~ 於:千里阪急ホテル

参加希望者は、脇本書記宛(090-9286-0108 fax 06-6761-9713)ご連絡ください。

【CSより】

各自が直接献金・献品を下記住所にお送りください。

例年通り、男性用の衣類、お米、石鹸などです。差出人として、大阪ワイズメンズクラブ・氏名というように、クラブ名を書き添えてください。さらに、お送りいただいた方は、かならず年書記あてにご報告ください。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

あけましておめでとうございます。多事多難かつ前途不透明な世の中ですが、メンバーの一言にもあるように、暖かいワイズであり続けて欲しいというのがささやかな願いです。(編集委員:松原伸幸)